

令和元年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第2回）

議事概要

1 日時：令和元年8月2日（金）14：00～15：30

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子 圓藤労働衛生コンサルタント事務所所長

◎岡部 信彦 川崎市健康安全研究所所長

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

眞鍋 昇 大阪国際大学教授（学長補佐）

丸井 英二 人間総合科学大学教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所参与

望月 眞弓 慶應義塾大学薬学部特任教授

四方田千佳子 神戸薬科大学特任教授

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から佐藤委員長ほか3名が、事務局から小川事務局長ほか6名が出席

4 議事概要

（1）平成30年度終了研究課題の事後評価結果（案）について

○ 前回の事後評価部会において事後評価（ヒアリング審査）を実施した以下①から⑥の平成30年度終了研究課題について、事後評価部会委員の評価コメントや意見に基づき事務局で取りまとめた各課題の評価所見（案）が提示され、審議を行った。

○ その結果、各委員からの意見を踏まえて事務局が評価所見（案）を修正し、同部会委員が内容を確認した上で、食品安全委員会に報告することになった。

○ 事後評価結果を踏まえて、今後開催予定の研究成果発表会での発表課題については、課題番号1607及び1703を選定した。

<事後評価対象課題>

①1607：発生毒性試験における胎児形態異常に関するデータ収集と骨格変異の毒性学的意義に関する研究：フルシトシン誘発性過剰肋骨の発現機序からの考察（元 一般財団法人食品薬品安全センター：桑形麻樹子）

②1702：試験管内プリオン増幅系を用いた「種の壁」の定量的評価のための研究（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構：岩丸祥史）

③1703：コリスチン耐性菌の出現状況と特性解析に関する研究（酪農学園大学：田村豊）

④1704：無機ヒ素ばく露評価およびその手法に関する研究

(東洋大学：吉永淳)

⑤1705：食物アレルギーと経口免疫寛容の成立機序の違いとアナフィラキシーの発症機序から見たリスク評価（徳島大学：木戸博）

⑥1805：食品添加物のリスク評価手法に関する研究－乳児を対象とした評価手法及び毒性試験全般に関する最新の国際動向等を踏まえた提言－

(ヤマザキ動物看護大学：梅村隆志)

(2) 食品安全確保総合調査の事後評価結果（案）について（報告）

○ 事務局から、平成30年度に実施した以下の食品安全確保総合調査課題について、事務局が行った事後評価の結果が報告された。

<30年度実施課題>

①麦類及びそば類アレルギーに係る食品表示についての食品健康影響評価のための調査

②器具・容器包装の規格基準改正（カドミウム）に係る食品健康影響評価のための情報収集

③ポジティブリスト制度施行に伴い暫定基準の設定された動物用医薬品（ホルモン剤等）に係る食品健康影響評価に関する文献調査

④遺伝子組換え食品等の安全性評価における構成成分データの評価に関するガイダンス作成のための調査

⑤ベンチマークドーズ法に関するガイダンス及び導入支援ソフトウェア等の現状調査

(3) 食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査のプログラム評価結果等について（報告）

○ 昨年1月25日及び本年5月8日に開催された研究・調査企画会議プログラム評価部会において、研究事業及び調査事業の活用状況について追跡評価及びプログラム評価が行われた。それらの評価結果が事務局から報告された。

－以上－

(注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)